

自治体DXの推進に向けた取組について

企画政策部資産経営課

1 取組の方向性

富津市みらい構想に掲げる「誇りと愛着を持てるまち ふつつ」の実現に向けた手段としてデジタル技術を積極的に活用し、市民の利便性向上や職員の業務の効率化、地域の課題解決を図る。

資産経営課においては、そうした市内の取組を推進するため、デジタル技術の利活用に係る市内調整や相談支援、基盤整備、人材育成などに取り組む。

2 取組事項

(1) デジタル技術を活用した市民サービスの向上

行政サービスに係る市民の時間の有効活用や負担軽減につながるよう、新たなICTツール等の利活用を推進する。

【令和6年度の取組事項】

- ・行政手続のオンライン化の推進（ロゴフォーム等を活用したオンライン申請の拡充、マイナポータルからのキャッシュレスでの証明書発行申請の実現）
- ・市民の利便性向上につながる新たなデジタルサービスの調査研究

(2) 行政事務におけるデジタル技術の活用推進

限られた人員で多様な市民ニーズに対応するため、デジタル技術を活用して業務の効率化を図り、職員がより創造性の高い業務や市民サービスに注力できる環境につなげていく。

【令和6年度の取組事項】

- ・自治体の業務システムの標準化・共通化
- ・タブレット端末やチャットツールを活用したペーパーレス化の推進
- ・業務の効率化に向けたAIなどの活用に係る調査研究

(3) デジタル技術の活用による地域課題の解決

富津市みらい構想で掲げた8つの施策テーマを推進するため、他団体の先進事例等も参考にしながら、デジタルの力を活用して地域の課題解決や魅力向上を図る。

【令和6年度の取組事項】

- ・デジタル技術の利活用に向けた職員のマインド醸成のための研修実施
- ・市内への情報提供の充実、相談支援